



希望記事

・事務職の健康の保ち方（日々の工夫）

事務職に限ったものではありませんが、2013年7月号（114号）の「継続できる新運動習慣いつでも・どこでも・すぐできる『日常ながら運動』で運動不足解消」がご参考になるのではないのでしょうか。

・退職後の中高年が趣味などに活躍し、イキイキと輝いているシーンを紹介してほしい。先日、茅ヶ崎海岸から力ヤックを漕ぎ出そうとしていたら、すぐ近くでモーターパラグライダーの飛行準備をしている老人がいた。声をかけると、定年後に始め、今は80歳代とのこと。イキイキと活動している人を見ると心を動かされる。

・定年をある程度身近に感じてきている世代はライフスタイルや趣味などにも興味がある。男性であれば車、スポーツ、旅行などか。車でいえば例えば我々の世代にお勧めの車や長年愛用している自慢の車を紹介するような記事が欲しい。旅行もこういった旅行の仕方があるといった提案型の記事も興味深い。これなら自動車会社や旅行会社とうまくタイアップできるのではないか。

定年後もイキイキと輝いて生活されている姿は、周囲にも好影響を及ぼしそうです。居場所またはツールとして「趣味」も大事な要素だと思います。掲載に仕方について一度検討したいと思います。



・通信員からの声にもありましたが、メンタルヘルスに関する情報が知りたいです。

メンタルヘルスについては他団体の機関誌等にも数多く掲載されていることを考慮し、本誌では掲載を少なめとしております。ご了承いただければ幸いです。

その他ご意見

・荻谷俊介さんのインタビュは興味深く拝見しました。「芝居」と「考古学」という2つの人生のテーマを、ゆっくりと「統合」させてゆく過程がすばらしいと思いました。

・荻谷俊介さんの記事に勇気を貰いました。やりたいことが見つかったら何歳になっても全力を傾ける。大変だけど、素敵な生き方だと思います。

全く同感です。

・Useful life 「一緒に遊ぼう！」の記事は、専門でない県職員ができることをできる範囲で行うボランティアが素晴らしいです。とりあえず、やってみようと思えるところがいいですね。自分も何かボランティアをやってみようかなという意識になりました。

チャレンジのきっかけになれば幸いです。

・ムリなく続ける「糖質制限」のコツは良くわかり、実践しています。

「その後」のご報告もお待ちしております。

・今回の「左座家」の記事、YouTubeで歌を聴きながら読ませていただきました。本当にすごい、家族の在り方（真似はできませんが）、趣味と仕事の両立を図られている理想像だな、と読ませていただきました。

家族コーラスができるなんて、かなり貴重だと思います。

・遠距離介護の記事がとても参考になりました。親元を離れて、という距離ではないにしても、同様の状態にある人は多いのではないのでしょうか。もっといろいろなことを知りたいと思いました。

介護に関する記事は切り口を変え、来年度も掲載予定です。

・日頃から腰痛に悩まされているので、今回の腰痛の記事は大変参考になりました。ぜひ肩こりの記事もお願いします。

掲載しました腰痛予防の体操も、ぜひお試しください。

・当方30代ですが、想定読者がより高い年齢層であるせいか、あまり身近な記事が少ないように感じます。20代・30代の職員も興味を持てるような、幅広い年齢層を意識した内容構成への改善を要望します。

若者が興味を持てる記事を増やすよう努めていきたいと思えます。なお、次の通信員のご意見も参考にしてください。

・貴誌では、健康や年金、介護等の記事が豊富で大変役に立っています。この年齢になって身にしみつつあり、若手職員にも貴誌を参考にして、と助言しています。

職場の先輩、人生の先輩からのアドバイスは大いに役立つものと思えます。

・アンケートの回答については、テーマと自身との関係から「ふつう」と解答せざるを得ないものもあるが、後で子供たちや孫、配偶者や親などに情報提供できるもの、より詳しく知りたいときの著者の書籍など有用な情報もあり、幅広くライフプランを捉えている努力に拍手をおくりたい。

ありがとうございます。その言葉を励みに、今後もお役に立てる誌面作りを目指したいと思います。

・じっくりと冊子全体を通して読んだのは初めてであるが、最初から終わりまで作り方が一本調子で飽きてしまう。例えば、字体や構成の仕方を変えるとか、抑揚のある構成の方が良い。

率直なご意見、ありがとうございます。本文の字体については、読みやすさを考慮し、なるべく同じものを使うようにしていますが、構成の仕方などで抑揚を出す工夫をしてみたいと思います。



通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をいただいています。ここでは前号で「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事をベスト3までご紹介します。

- 1位…Communication
上手な“わたし”の伝え方
——「パフォーマンス学」の基本
佐藤綾子
- 2位…Interview
苅谷俊介さん
完璧がないから、常に挑戦
- 3位…Family
故郷に暮らす親の介護はどうすればいいか？——遠距離介護の秘訣
太田差恵子